

2024年1月1日にM7.6 最大震度7の能登半島地震が発生しました。近畿大学奈良病院は、DMATを合計2隊派遣しました。第1隊目の報告をさせていただきます。

1月1日 16:10 令和6年能登半島地震発生 全国DMAT自動待機基準となる

1月3日 14:36 近畿ブロック派遣要請あり、準備開始

1月4日 08:45 見送りの元、近畿大学奈良病院出発

1月4日 15:00 石川県立中央病院活動拠点本部到着
…到着報告後…
石川県保健医療調整本部へ派遣決定



石川県保健医療調整本部
全体写真

1月4日 16:30

石川県庁に到着
石川県保健医療調整本部（DMAT調整本部）物資
支援担当となる
前担当チームより引継ぎを受ける



当院DMAT（1隊目）活動内容

被災病院の医療ニーズへの対応（主に物資支援）を行う

※医療ニーズとは、それぞれの被災病院の困り事を調査し、対応することではありますが、この時点では物資（病院食、職員用食料、水、燃料、医療器材（検査キット等）や衛生物品など）の支援が重要な課題になります

1. 石川県内、被災病院の医療ニーズを様々な方法で情報収集する
2. 収集した情報の中から物資支援に関する情報を抽出、リストアップし石川県庁に提出する
3. 物資の配送方法を検討する（自衛隊？ DMAT？ 陸路？ 空路？）
4. 被災病院、市町村役所や避難所、企業等からの物資に関する依頼や相談への対応をする

1. 医療ニーズ収集（主に物資支援）

1. 能登活動拠点本部が得た各病院・施設の医療ニーズ情報を共有。
2. 調整本部他部門（周産期部門や高齢者施設部門など）から物資の依頼。
3. 災害時医療情報システムから要支援病院の必要な物資情報を確認し、必要時物資供給確認リストに記載する。



※公立能登総合病院活動拠点本部から各病院・施設にDMATを派遣し、様々な情報収集をおこなっている



調整本部他部門（周産期部門や高齢者施設部門など）から物資依頼



能登活動拠点本部とZoomで必要物資情報の聞き取り実施

支援 要否	医療 派遣 ステ タス	名称	更新 日時 ▼▲	医師 出勤 状況 ▼▲	入院病棟の危険状況			
					倒壊・ 倒壊の 恐れ	火災	浸水	電 使 不 可
要	要手配		01/18 12:28	100%				
要	要手配		01/18 16:13					
要	手配済		01/17	14%				

災害時医療情報システムから必要な物資情報を確認する（未入力は、被災していないわけではなく、入力が出来ないほど壊滅的な状況かもしれない…）

2. リストアップ

能登活動拠点本部と共有した情報

依頼物資情報 1月6日 17時時点の情報リスト				
市町村	依頼医療機関	依頼介護施設	避難所	依頼内容
	A病院			食料1500食手配
	B病院			縫合キット（ディスポ）：200個 水：500L
	Cクリニック			水2L 10ケース おしりふき、使い捨てカイロ 30個ずつ
	D病院			暖房器具、コンセントタイプ 2～3個
	E病院			食事：アルファ米・おかゆ 患者100名 スタッフ用200名 ブルシート（大）：20枚 手袋 M50箱 S20箱 L30箱 簡易トイレ（ベンリー袋：災害トイレ）： テープ式オムツ：M300枚 L300枚 尿取りパット：M300

当院DMATがリストアップした物資リスト

物資供給希望リスト		全体	(*)○：対応済 ×：対応不可（備蓄なしなど） 無印
依頼病院	市町名	依頼物資	数量
Aクリニック		ルビスタ大	15個
Aクリニック		手袋M（50枚）	10箱
Aクリニック		アルコール除菌シート大（300枚程度）	20個
Aクリニック		トイレットペーパー	50ロール
B病院		おかゆ	300
B病院		アルコール消毒	100個
B病院		貼るカイロ	100枚
B病院		ルビスタ大	15個
B病院		手袋M（50枚）	10箱
B病院		アルコール	
B病院		トイレッ	
C病院		新生児用	
C病院		新生児用	

能登活動拠点本部と共有した物資情報や、災害時医療情報システム、Zoom等で収集した物資情報を整理し、リストアップした上で石川県庁に依頼する

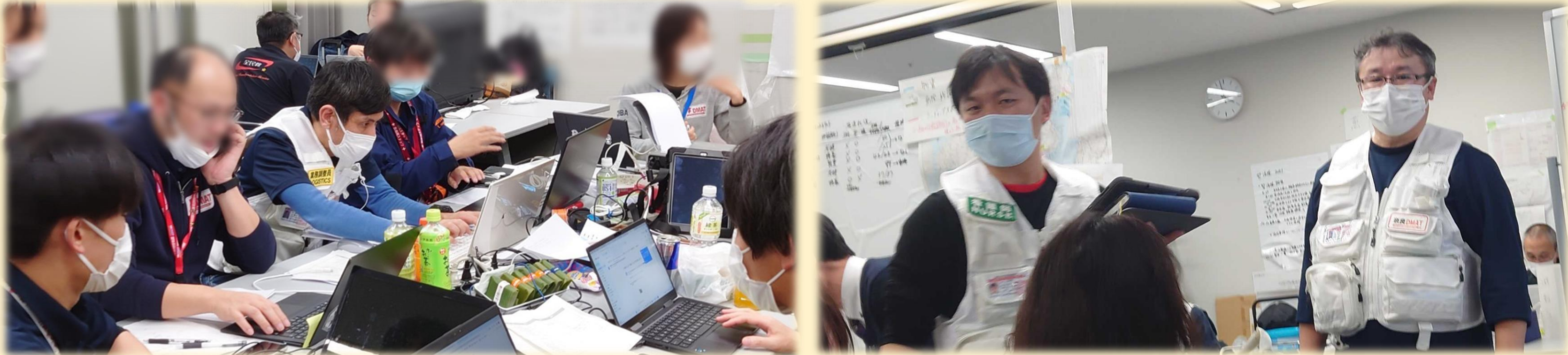
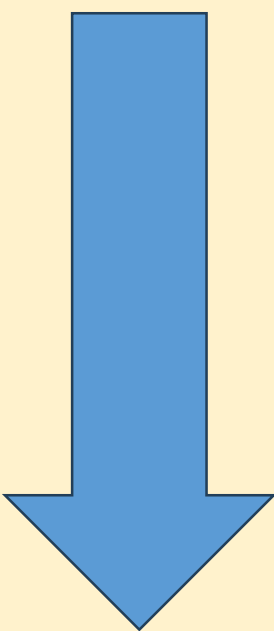
産業展示館
この場所に物資が集約され、必要な所に配送されていく



いろいろな問題が・・・

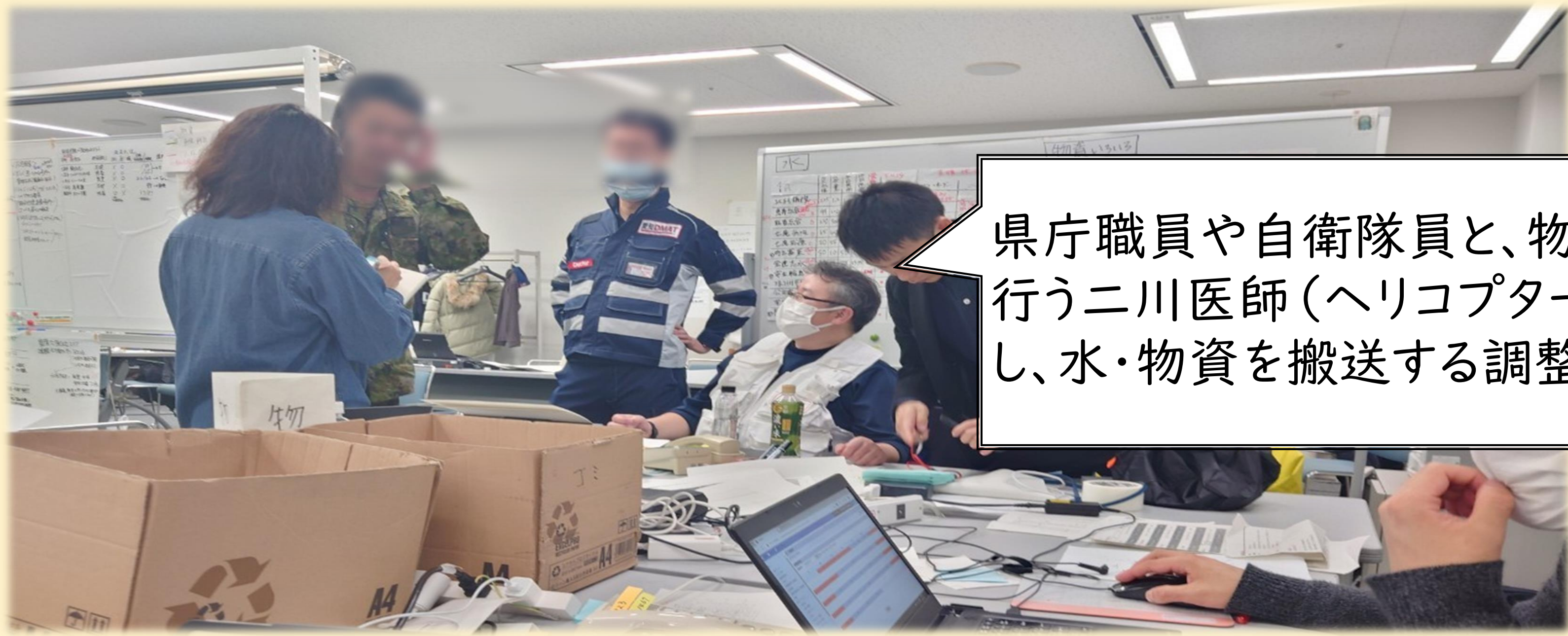
- ・物資の名前、単位がごちゃごちゃ
※食事、食料、ごはん、病院食など様々な名前で物資の依頼 単位も○人分、○個、○セット、○日分など・・・
- ・頼んでいない物資が届く？
※状況が不明のため、PUSH型支援をおこなったが、高齢者施設へ赤ちゃん粉ミルクが届いてしまい、現場が混乱した
- ・届かない！（届いているかも分からない）
※物資置き場が共有のため、病院の物資を避難所が間違っって持って行ってしまった
※仮設トイレ頼んでいるが、3日以上こない
※届いたものがいつ頼んだものか分からない
※ヘリが飛べなかった

だから！！



県庁職員と病院・施設の間を適切に取りまとめる必要があります。請求されている医療物資の必要性や緊急性を判断することができる医療従事者チーム（DMAT）が重要な役割を担います。

3.その他



県庁職員や自衛隊員と、物資の搬送方法の調整を行う二川医師（ヘリコプターや自衛隊車両等を使用し、水・物資を搬送する調整を行っている）

被災した病院への給水をリストアップ

給水も問題が...

- ・給水が行われたかわからない...
- ・飲料水が必要なのか生活用水が必要なのか？
- ・単位がごちゃごちゃ... Kℓ? ℓ? トン？
- ・給水タンクが破損していて次の日には水が空っぽになっていた...
- ・給水時のホースの規格が合わず、給水できなかった...

1/6 給水優先順位		
	1/6 給水優先順位	最低必要量
A病院	A	不明
B病院	A	10
C病院	A	30
D病院	B	不明
E病院	B	不明
F病院	B	不明
G病院	B	0.4
H病院	C	10
I産婦人科	C	0.8
J病院	D	20
K病院	E	不明

多くの企業より、物資を支援したいと問い合わせがありました

多くの企業より物資支援の連絡がありました。直接訪れていただいたり、電話を頂いたりします。その方々とのやりとり方法や供給していただく物資をリストアップし、適切な支援場所や支援時期を調整させていただきました。

今回の地震における物資支援について考えてみます。震源地が半島の先端部であり、道路が寸断されたことで支援者派遣や支援物資の供給が難しくなりました。また水道管の破損箇所が多く、なかなか復旧しなかったことも給水支援を長引かせることになりました。通信状況は早期に復旧したので情報収集は問題なく行えました（一部、ウクライナ支援と同様の通信手段の提供がありました）。災害の特徴に応じて様々な準備や対応が必要なことを痛感しました。

近畿大学奈良病院は、災害時に地域の医療を支える災害拠点病院に指定されています。災害医療派遣チーム（DMAT）を備える他、さまざまな災害対策を実施しています。今後も、当院全体で災害に備え、地域の安全を守る役割を果たしていく所存です。



1月6日 20:00

次の物資担当（災害医療センターDMAT隊）へ引継ぎ